



校長室の窓から



座間市立東原小学校
電話 253-3145

東原小キャラクター「かめっち」

あけましておめでとうございます。今年も、子どもたちが充実した学校生活を送ることができるよう教育活動を進めていきたいと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。

3学期は、あつという間に過ぎていきます。進学・進級に向けて前向きな気持ちで過ごせるように、職員一同で力を合わせていきます。



アーン小学校来校



あさ・こだ級焼き芋会

子どもたちに主体性を！

「やってみたい！知りたい！学びたい！」を引き出す授業

これは、本校職員の校内研究のテーマです。

東原小学校の子どもたちは、言われたことについて一生懸命取り組みます。それは、とてもよいことなのですが、自分で考えて行動する力には伸びしろがたくさんあります。学習面でも生活面でも受け身になってしまう場面が見られます。

そこで、学習の中で主体性を育み、生活面にもつなげていきたいと考えています。当たり前ですが、それは簡単なことではありません。授業の中では、子どもたちの「問い合わせ」を引き出せる授業展開に試行錯誤しながら取り組んでいます。教師の側から「～しましょう」だけでなく、子どもたちに「はつきりさせたい」「友だちと確かめたい」「自分の考えを話したくなる」などの気持ちが出てくることを大切にし、そのための「きっかけ」づくりに力を入れています。

研究授業では

1年生の算数「どちらがおおい」では、比べ方を考えることをめあてに授業を進めました。子どもたちの予想を受けて、先生は「じゃあ、～が多いかな。」とわざと決めつけたように言うと、子どもたちからは「比べてみないとわからないよ！」「理由も言わないとだめだよ！」などの声が上がりました。実物の用具を使いながら比べ方を考えた後、「じゃあ、先生がスーパードリンク(色水)を使って確かめるね。いい？」との投げかけに「えーっ！？」。次の授業で、子どもたちが色水と用具を使って、自分たちで確かめました。授業の途中に様々なきっかけがあり、研究協議では様々な意見交換をしました。

現実は…

立派な考え方だけれど、現実の授業はそんなふうには思えないけれど…などと思う方もいらっしゃるかもしれません。

私自身担任をしていた頃、精一杯考えて盛り上がるかなあと期待しながら臨んだ授業がうまくいかないということは、しばしばありました。また、以前うまくいった授業も学級が変わると全く違う反応であることもあります。大して考えていない事柄について、誰かの疑問をきっかけに盛り上がり、深められることもあります。だからこそ、授業はおもしろいし、子どもの反応やつぶやきをよく見取ることが大切になります。私たちは、子どもたちの見取りの大切さ・仕方も学びの途中です。